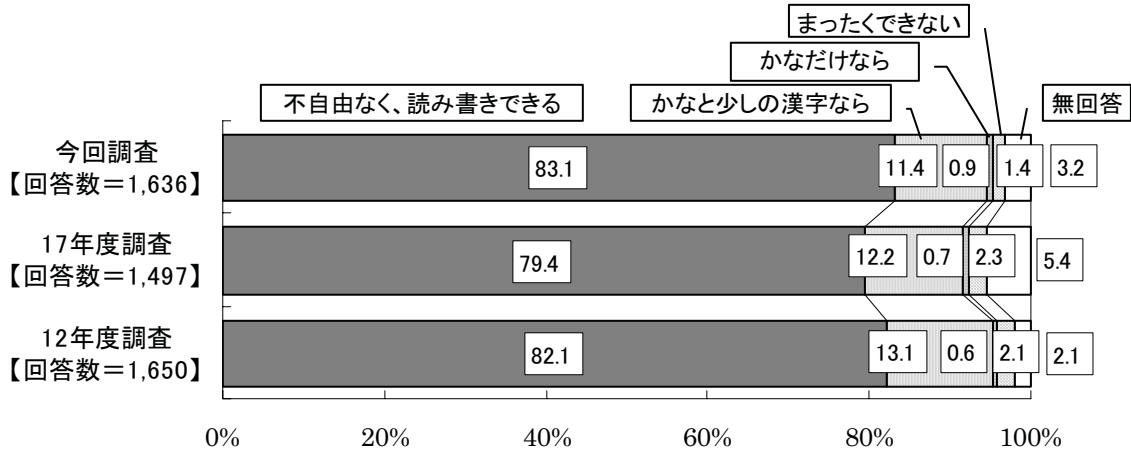


7. 識字について

問24 あなたは、どの程度新聞を読んだり、手紙を書いたりできますか？（○は1つだけ）

図 7-1 “識字” の状況

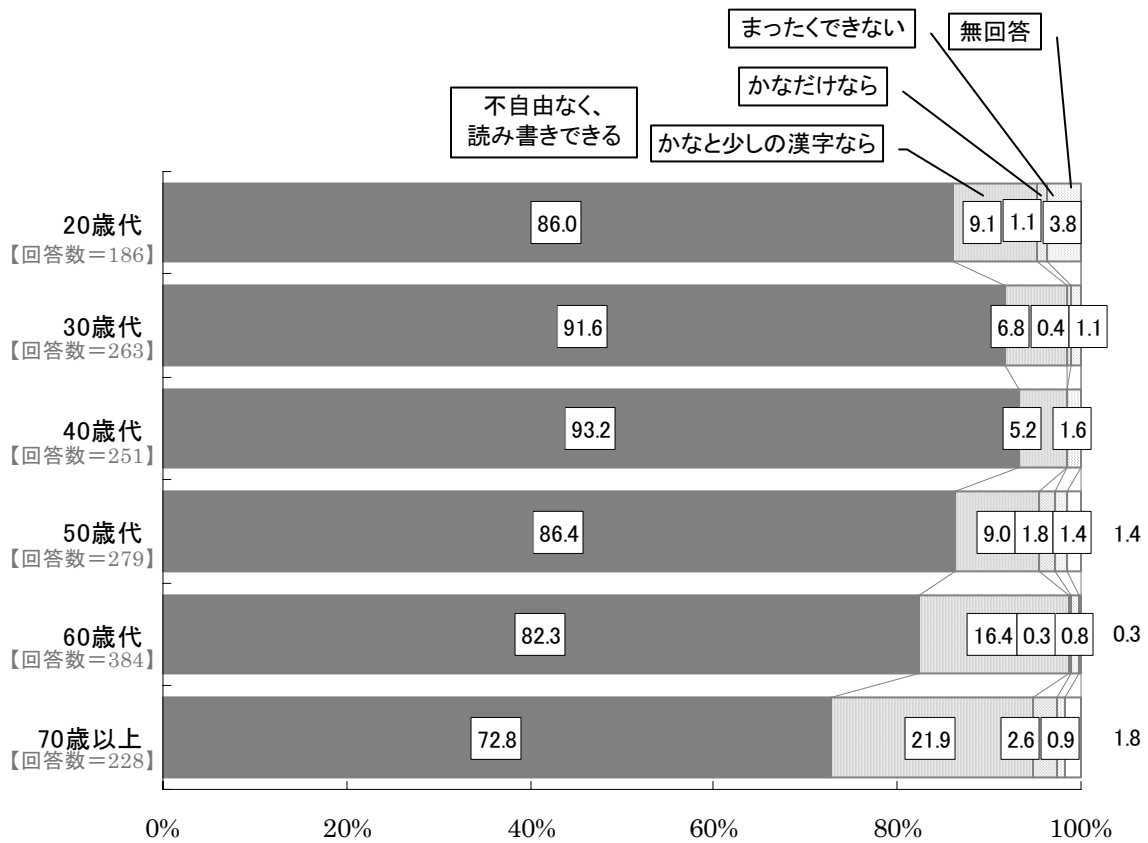


新聞を読んだり、手紙を書いたりできる“識字”の状況をたずねた。「不自由なく、読んだり書いたりできる」が83.1%と最も高く、次いで「『かな』と少しの『漢字』なら、読んだり書いたりできる」が11.4%、「まったく読んだり書いたりできない」が1.4%となっている。

読み書きに不自由を感じる方（「『かな』と少しの『漢字』なら、読んだり書いたりできる」＋「『かな』だけなら、読んだり書いたりできる」＋「まったく読んだり書いたりできない」）は、13.7%となっている。（図7-1）

12年度調査・17年度調査と比較すると、「不自由なく、読んだり書いたりできる」は、12年度（82.1%）に比べ今回調査（83.1%）は1.0ポイント、17年度（79.4%）に比べ3.7ポイント下回っている。また、「まったく読んだり書いたりできない」は、12年度（2.1%）・17年度（2.3%）に比べそれぞれ0.7ポイント、0.9ポイント下回っている。

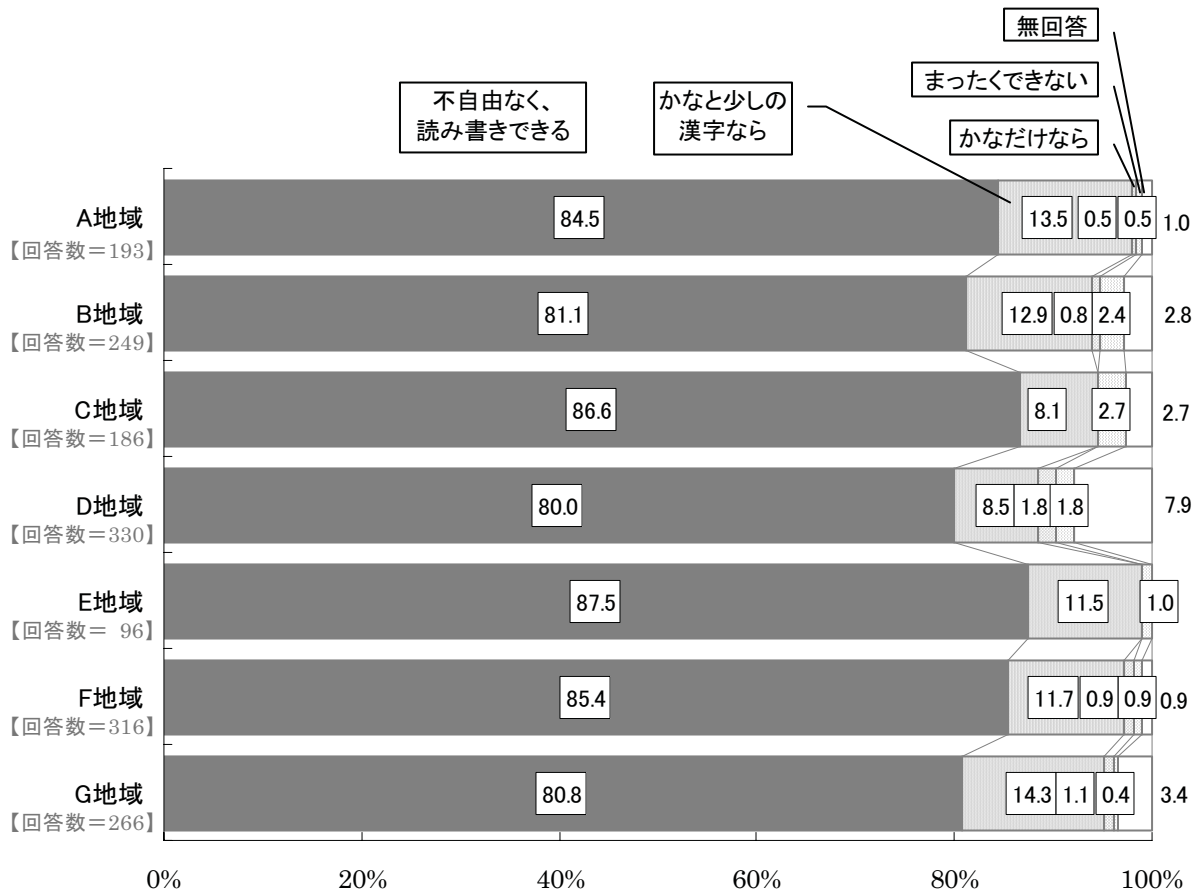
図 7-2 年代別 “識字” の状況



年代別にみると、「不自由なく、読んだり書いたりできる」は、すべての年代で 7 割を超えており、40 歳代が 93.2%と最も高く、次いで 30 歳代が 91.6%、50 歳代が 86.4%となっている一方、70 歳以上は 72.8%と低くなっている。

読み書きに不自由を感じる方（『かな』と少しの『漢字』なら、読んだり書いたりできる）＋『かな』だけなら、読んだり書いたりできる」＋「まったく読んだり書いたりできない」は、70 歳以上が 25.4%と最も高く、次いで 60 歳代が 17.5%、20 歳代が 14.0%となっている一方、40 歳代は 6.8%と低くなっている。（図 7-2）

図 7-3 地域別 “識字” の状況

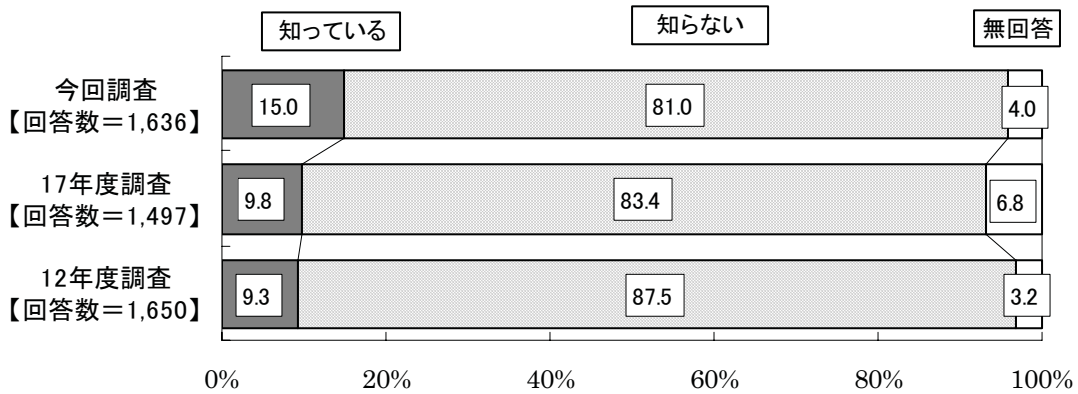


地域別にみると、「不自由なく、読んだり書いたりできる」は、すべての地域で 8 割を超えており、E 地域が 87.5%と最も高く、次いで C 地域が 86.6%、F 地域が 85.4%となっている一方、D 地域端 80.0%と低くなっている。

読み書きに不自由を感じる方（『かな』と少しの『漢字』なら、読んだり書いたりできる）＋『かな』だけなら、読んだり書いたりできる）＋「まったく読んだり書いたりできない」は、B 地域が 16.1%と最も高く、次いで、G 地域が 15.8%、A 地域が 14.5%となっている一方、C 地域では 10.8%とと低くなっている。（図 7-3）

問25 あなたは、文字の読み書きに不自由されている方をご存知ですか？（○は1つだけ）

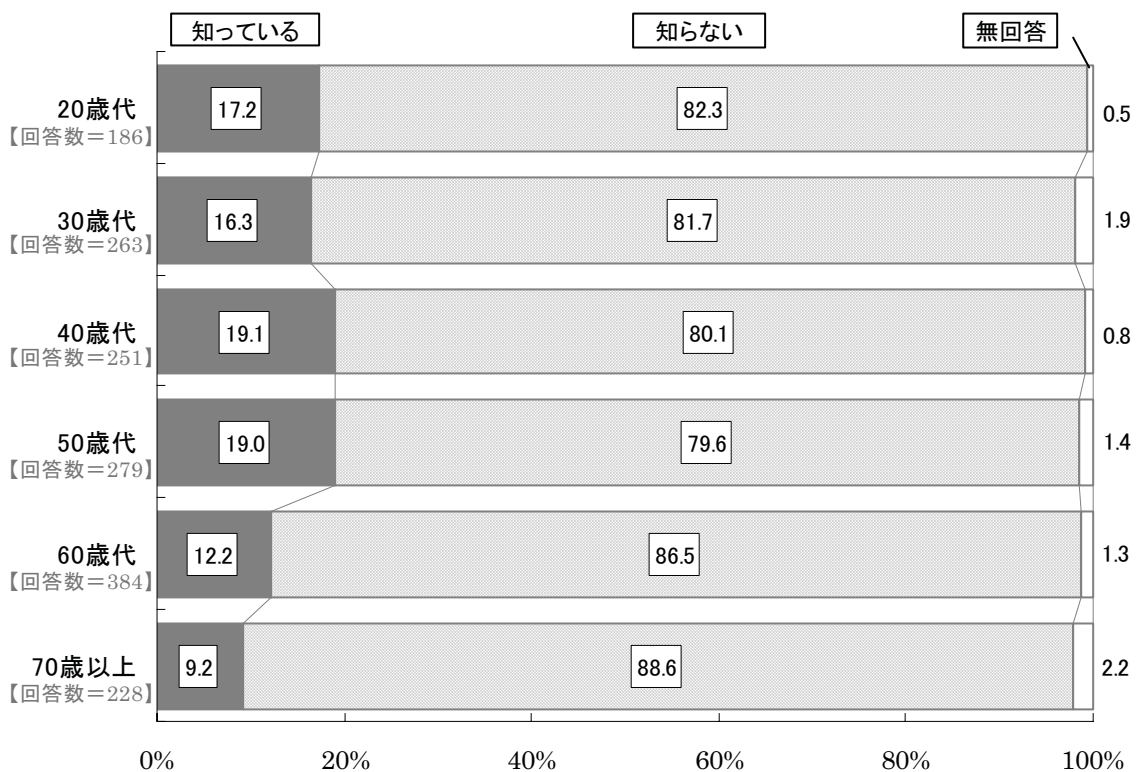
図 7-4 “識字”が必要な方の認知状況



文字の読み書きに不自由されている方の認知状況をたずねた。「知っている」が 15.0%、「知らない」が 81.0%となっている。

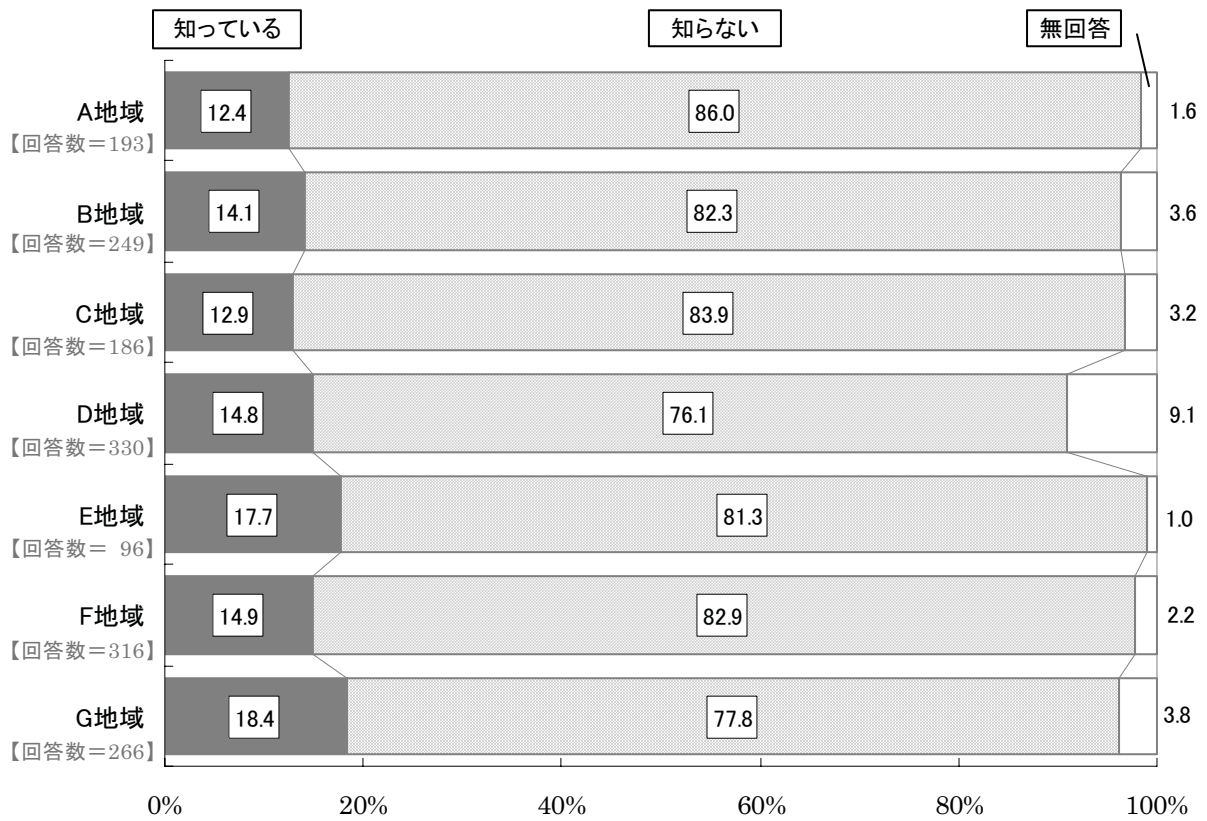
12年度調査・17年度調査と比較すると、「知っている」は、12年度(9.3%)、17年度(9.8%)に比べそれぞれ 5.7ポイント、5.2ポイント上回っている。(図 7-4)

図 7-5 年代別 “識字”が必要な方の認知状況



年代別にみると、「知っている」は、40歳代が 19.1%と最も高く、次いで 50歳代が 19.0%、20歳代が 17.2%となっている一方、70歳以上は 9.2%と低くなっている。(図 7-5)

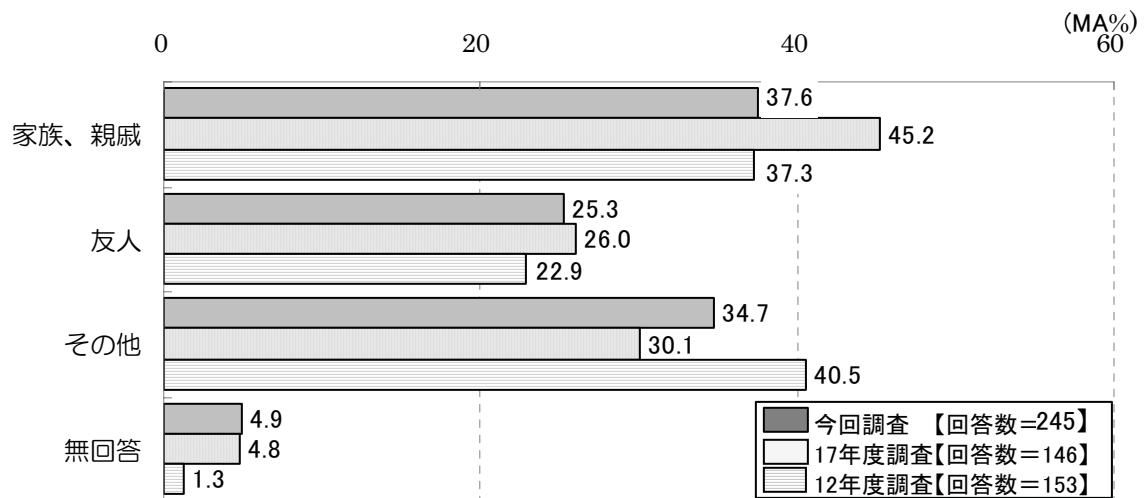
図 7-6 地域別 “識字” が必要な方の認知状況



地域別にみると、「知っている」は、G 地域が 18.4%と最も高く、次いで E 地域が 17.7%、F 地域が 14.9%となっている一方、A 地域は 12.4%と低くなっている。(図 7-6)

問 25-1 問 25 で「1 知っている」に○印をつけた方におたずねします。その方はどなたで
すか？（○はいくつでも）

図 7-7 “識字”が必要な方（複数回答）

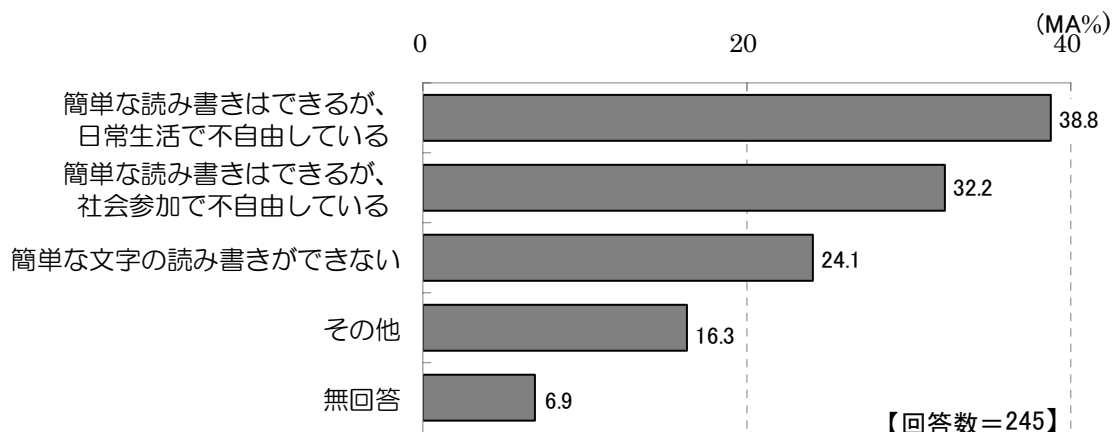


「文字の読み書きに不自由されている方」を知っていると答えられた方に、その方がどなたかをたずねた。「家族、親戚」が 37.6%、「その他」が 34.7%、「友人」が 25.3%となっている。

12 年度調査・17 年度調査と比較すると、「家族、親戚」は、12 年度（37.3%）に比べて 0.3 ポイント上回っており、17 年度（45.2%）に比べて 7.6 ポイント下回っている。「友人」は、12 年度（22.9%）と比べ 2.4 ポイント上回っており、17 年度（26.0%）に比べ 0.7 ポイント下回っている。（図 7-7）

問 25-2 問 25 で「1 知っている」に○印をつけた方におたずねします。その方は、どのような状態ですか？（○はいくつでも）

図 7-8 “識字”が必要な方の状態（複数回答）



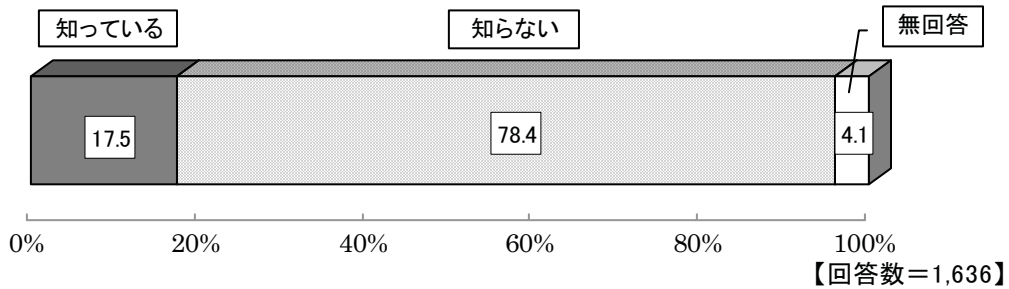
「文字の読み書きに不自由されている方」を知っていると答えられた方に、その方の状態をたずねた。「簡単な読み書きはできるが、日常生活（市役所などの窓口で届け出をするときなど）をしていくうえで不自由している」が 38.8%と最も高く、次いで「簡単な読み書きはできるが、社会参加（学習会等への参加など）をしていくうえで不自由している」が 32.2%、「簡単な文字の読み書きができない」が 24.1%となっている。（図 7-8）

問 26 本市では、文字の読み書きに不自由をされている方のために「識字学級」や「よみかき教室」などを実施しています。また、市民の皆さまに、学級生の作品を紹介する「識字展」や、識字への理解と認識を深めていただくために誰でも参加できる「国際識字デー・市民のつどい」などを開催しています。

あなたは、これらのことをご存知ですか？（〇はそれぞれ1つだけ）

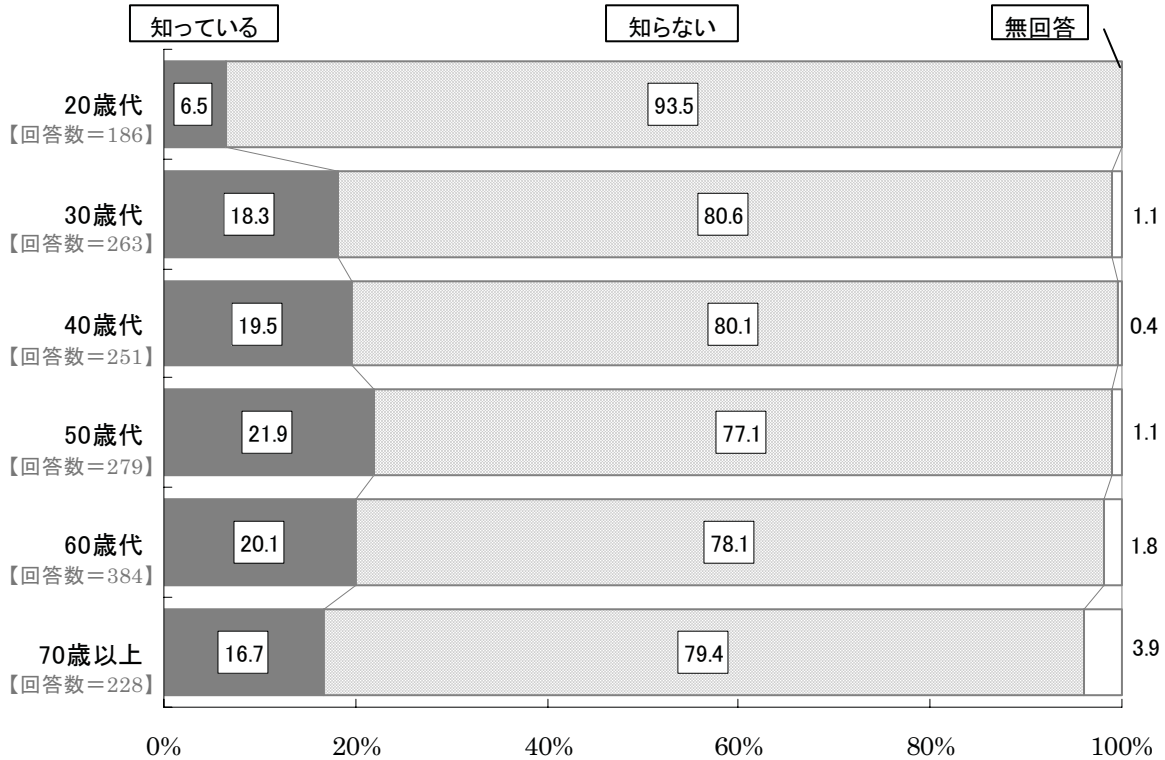
【「識字学級」や「よみかき教室」などの実施について】

図 7-9 「識字学級」や「よみかき教室」などの実施の認知度



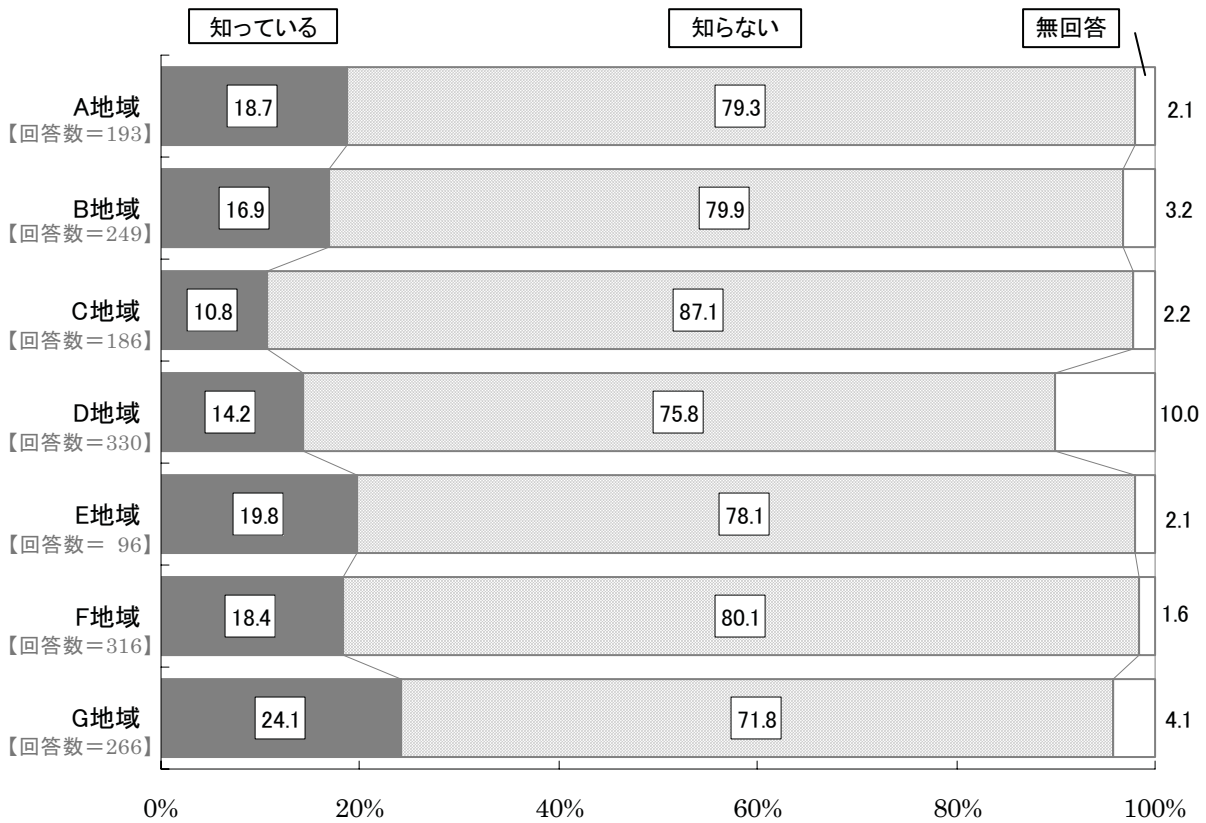
『識字学級』や『よみかき教室』などの実施についての認知度をたずねた。「知っている」が17.5%、「知らない」が78.4%となっている。（図7-9）

図 7-10 年代別 「識字学級」や「よみかき教室」などの実施の認知度



年代別にみると、「知っている」は、50歳代が21.9%と最も高く、次いで60歳代が20.1%、40歳代が19.5%となっている一方、20歳代は6.5%と低くなっている。（図7-10）

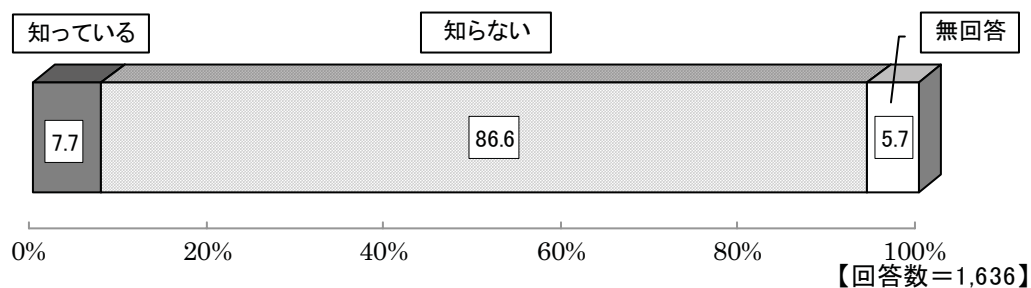
図 7-11 地域別 「識字学級」や「よみかき教室」などの実施の認知度



地域別にみると、「知っている」は、G 地域が 24.1%と最も高く、次いで E 地域が 19.8%、A 地域が 18.7%となっている一方、C 地域は 10.8%と低くなっている。(図 7-11)

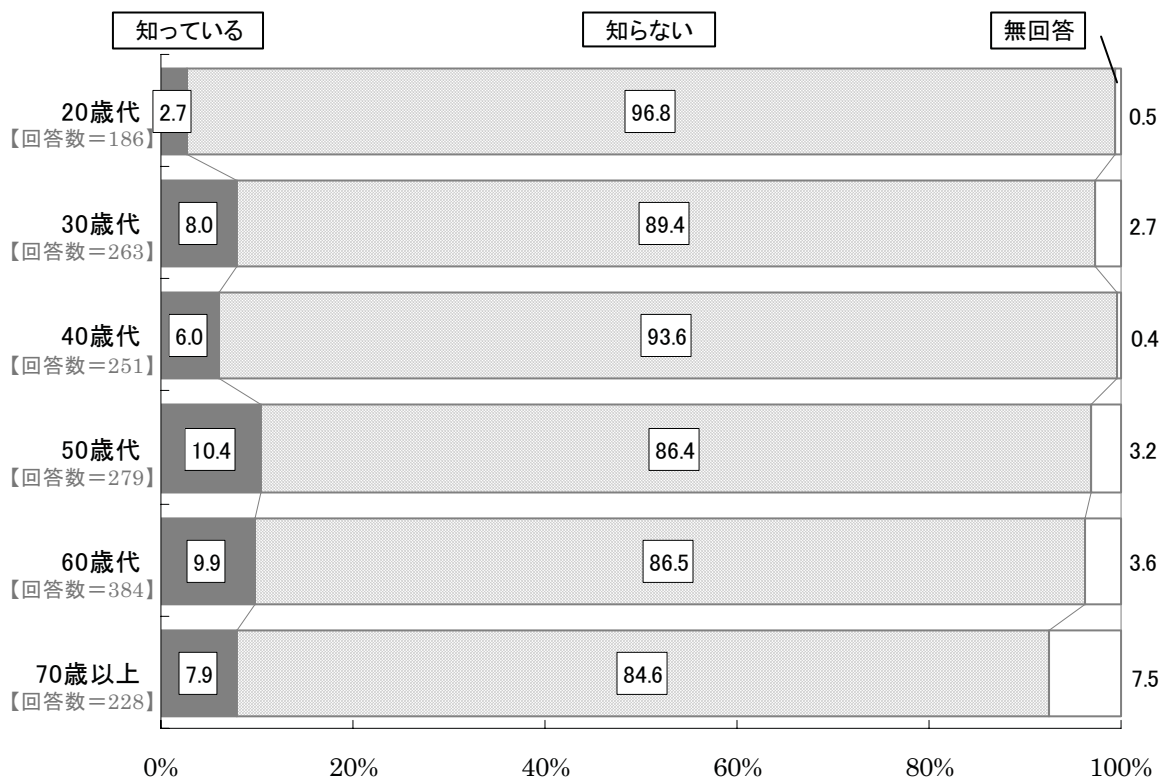
【「国際識字デー・市民のつどい」などの開催について】

図 7-12 「国際識字デー・市民のつどい」などの開催の認知度



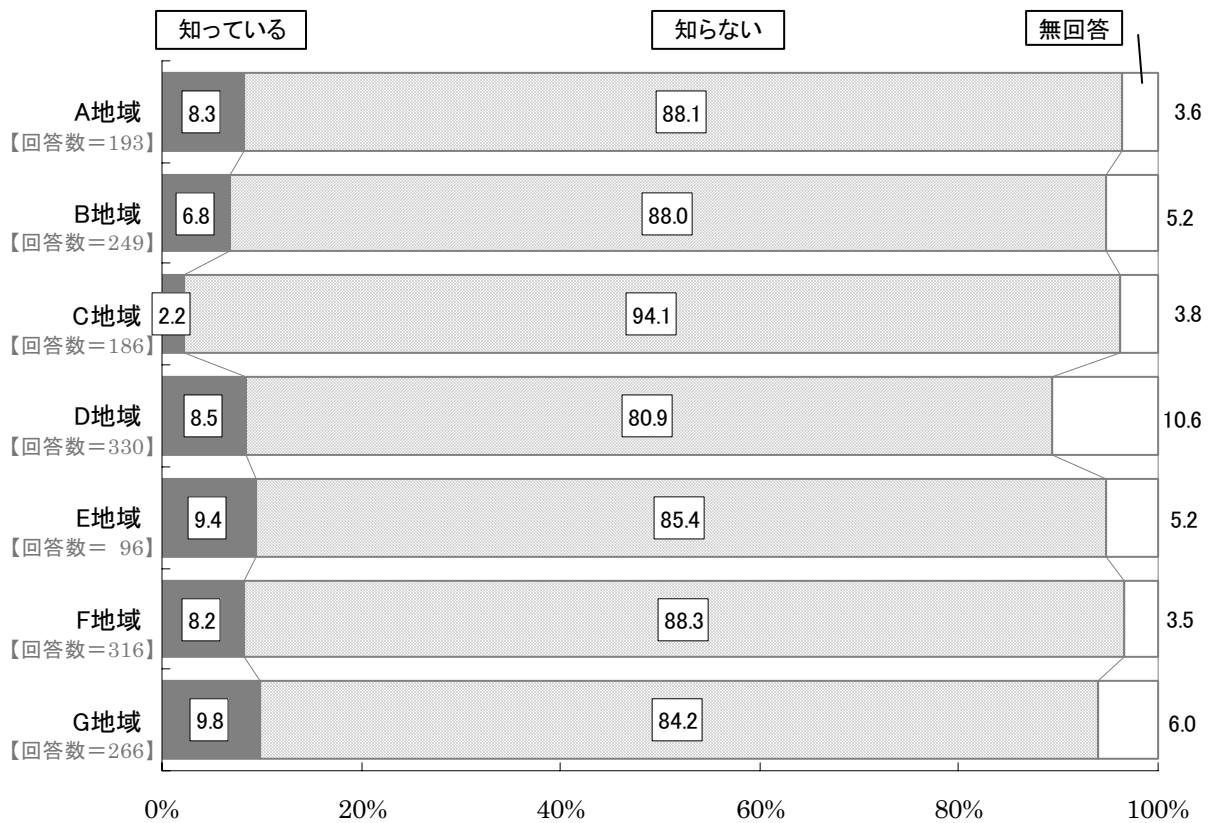
『国際識字デー・市民のつどい』などの開催の認知度をたずねた。「知っている」が 7.7%、「知らない」が 86.6%となっている。(図 7-12)

図 7-13 年代別 「国際識字デー・市民のつどい」などの開催の認知度



年代別にみると、「知っている」は、50歳代が 10.4%と最も高く、次いで 60歳代が 9.9%、30歳代が 8.0%となっている一方、20歳代は 2.7%と低くなっている。(図 7-13)

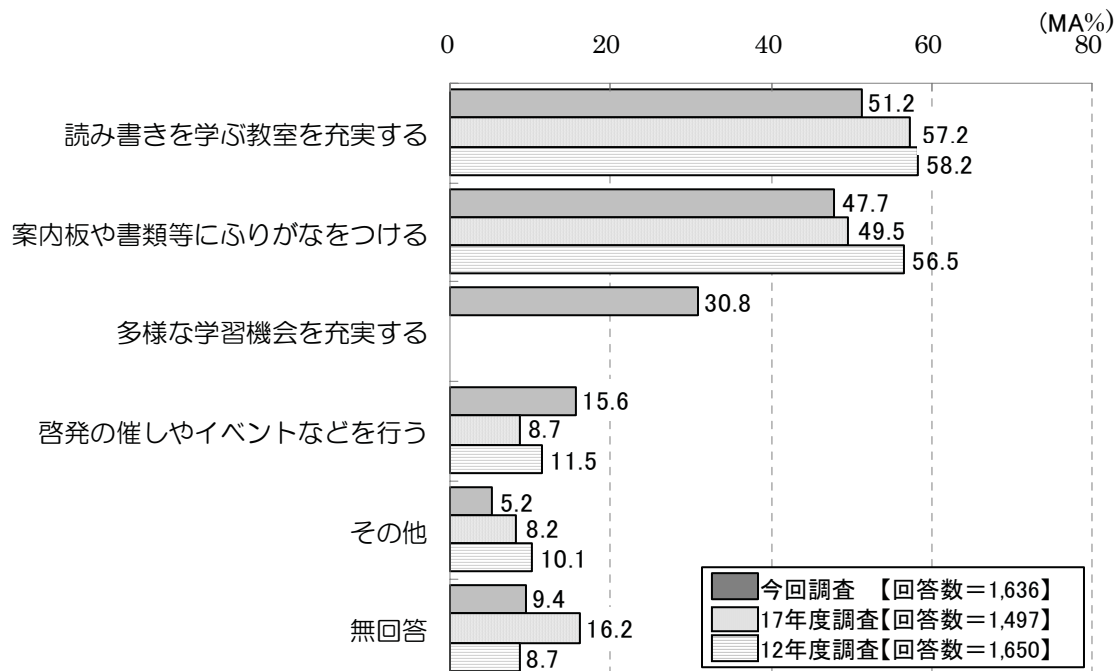
図 7-14 地域別 「国際識字デー・市民のつどい」などの開催の認知度



地域別にみると、「知っている」は、G地域が9.8%と最も高く、次いでE地域が9.4%、D地域が8.5%となっている一方、C地域は2.2%と低くなっている。(図7-14)

問 27 読み書きに不自由をされている方のために、あなたは、今後、市として取り組むべきことは、どのようなことだと思いますか？（〇はいくつでも）

図 7-15 “識字”が必要な方のために市が取り組むべきこと（複数回答）



読み書きに不自由されている方のために今後、市が取り組むべきことをたずねた。「読み書きを学ぶ教室を充実する」が 51.2%と最も高く、以下、「市役所の案内板・届出書・パンフレットなどにふりがなをつける」(47.7%)、「社会参加を促進するための多様な学習機会（パソコン教室など）を充実する」(30.8%)、「識字運動を啓発するための催し・イベントなどを行う」(15.6%)となっている。

12年度調査・17年度調査と比較すると、「多様な学習機会」を追加したため、単純に比較できないが、「読み書きを学ぶ教室を充実する」は、12年度(58.2%)、17年度(57.2%)に比べそれぞれ 7.0ポイント、6.0ポイント下回っている。また、「市役所の案内板・届出書・パンフレットなどにふりがなをつける」は12年度(56.5%)、17年度(49.5%)に比べそれぞれ 8.8ポイント、1.8ポイント下回っている。一方、「識字運動を啓発するための催し・イベントなどを行う」は、12年度(11.5%)、17年度(8.7%)に比べそれぞれ 4.1ポイント、6.9ポイント上回っている。(図 7-15)

図 7-16 年代別 “識字” が必要な方のために市が取り組むべきこと（複数回答）

		問 27 “識字” が必要な方のために市が取り組むべきこと (MA%)				
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
年代別	20 歳代 【回答数=186】	読み書きを学ぶ教室を充実する 56.5	案内板や書類等にふりがなをつける 53.2	多様な学習機会を充実する 37.6	啓発の催しやイベントなどを行う 16.7	その他 5.9
	30 歳代 【回答数=263】	読み書きを学ぶ教室を充実する 60.8	案内板や書類等にふりがなをつける 49.8	多様な学習機会を充実する 35.0	啓発の催しやイベントなどを行う 16.7	その他 7.2
	40 歳代 【回答数=251】	読み書きを学ぶ教室を充実する 61.4	案内板や書類等にふりがなをつける 50.6	多様な学習機会を充実する 35.1	啓発の催しやイベントなどを行う 15.1	その他 2.8
	50 歳代 【回答数=279】	読み書きを学ぶ教室を充実する 58.1	案内板や書類等にふりがなをつける 46.6	多様な学習機会を充実する 35.8	啓発の催しやイベントなどを行う 19.4	その他 5.4
	60 歳代 【回答数=384】	読み書きを学ぶ教室を充実する 46.9	案内板や書類等にふりがなをつける 45.1	多様な学習機会を充実する 29.4	啓発の催しやイベントなどを行う 18.0	その他 5.5
	70 歳以上 【回答数=228】	案内板や書類等にふりがなをつける 53.1	読み書きを学ぶ教室を充実する 33.8	多様な学習機会を充実する 18.0	啓発の催しやイベントなどを行う 8.8	その他 5.3

年代別にみると、「読み書きを学ぶ教室を充実する」は、20～60歳代が第1位となっており、70歳以上は「市役所の案内板・届出書・パンフレットなどにふりがなをつける」が第1位となっている。

いずれの年代も、第3位は「社会参加を促進するための多様な学習機会（パソコン教室など）を充実する」となっており、第4位は「識字運動を啓発するための催し・イベントなどを行う」となっている。（図7-16）

図 7-17 地域別 “識字” が必要な方のために市が取り組むべきこと（複数回答）

		問 27 “識字” が必要な方のために市が取り組むべきこと (MA%)				
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
地 域 別	A 地域 【回答数=193】	読み書きを学ぶ教室を充実する 50.3	案内板や書類等にふりがなをつける 46.6	多様な学習機会を充実する 28.5	啓発の催しやイベントなどを行う 15.5	その他 5.7
	B 地域 【回答数=249】	案内板や書類等にふりがなをつける 53.0	読み書きを学ぶ教室を充実する 51.4	多様な学習機会を充実する 31.7	啓発の催しやイベントなどを行う 14.9	その他 3.6
	C 地域 【回答数=186】	案内板や書類等にふりがなをつける 50.5	読み書きを学ぶ教室を充実する 47.8	多様な学習機会を充実する 26.9	啓発の催しやイベントなどを行う 12.4	その他 6.5
	D 地域 【回答数=330】	読み書きを学ぶ教室を充実する 49.7	案内板や書類等にふりがなをつける 42.4	多様な学習機会を充実する 30.0	啓発の催しやイベントなどを行う 18.2	その他 6.4
	E 地域 【回答数=96】	読み書きを学ぶ教室を充実する／案内板や書類等にふりがなをつける 56.3		多様な学習機会を充実する 33.3	啓発の催しやイベントなどを行う 25.0	その他 1.0
	F 地域 【回答数=316】	読み書きを学ぶ教室を充実する 54.1	案内板や書類等にふりがなをつける 47.2	多様な学習機会を充実する 33.9	啓発の催しやイベントなどを行う 13.6	その他 5.4
	G 地域 【回答数=266】	読み書きを学ぶ教室を充実する 50.8	案内板や書類等にふりがなをつける 45.9	多様な学習機会を充実する 30.8	啓発の催しやイベントなどを行う 14.7	その他 5.3

地域別に上位5項目をみると、E地域は、「読み書きを学ぶ教室を充実する」と「市役所の案内板・届出書・パンフレットなどにふりがなをつける」がともに56.3%と第1位となっている。E地域のほか、「読み書きを学ぶ教室を充実する」が、第1位の地域は、F地域（54.1%）、A地域（53.0%）、G地域（50.8%）、D地域（49.7%）となっている。また、「市役所の案内板・届出書・パンフレットなどにふりがなをつける」が第1位の地域は、B地域（53.0%）、C地域（50.5%）となっている。（図7-17）